

NEWS Letter

Enjoy!! NOZOWA Life !!

KEN TIMES

2022年4月号



p01



p03



p05



Contents

p05 / 今月のインタビュー
「Snowboarder's base NEO BAR」の
マッキーさんだぜい。



p02 / 日常、あれこれ
p11 / コロナで46万円もらった件
p14 / バックナンバー
p15 / プロフィール
p16 / お客さまの声

レースへ再び



…出たくなっちゃったんですよ、またレースに。

今シーズンはほぼ毎日、仕事の合間にスキーに来ていたのですが、ある日一人でゴンドラに乗っている際、そこに貼ってあるポスターに目をやると「はとぐるまカップ」の案内が。「なんか久しぶりに出てみようかなあ〜」と、後日ぼんやりエントリー。そこまではつきり「出たい!」というよりは、「まあどっちでも良いんだよな。」という気持ちでした。正直なところ。

でも、なぜ結局エントリーしたかということ、もし自分がレースにエントリーした場合、それまでに自分がどんな行動をするのか、というところに興味があったからです。出たければ出れば良いのですがね、今回はそんな理由でした。ということで、つまりは、また出てみたくなったのです。

前置きが長くなりましたが、出て大正解!でしたね。感想は一言、ただ楽しかった。必ず来年も出場します。「リベンジ!」の気持ちが強いですかね。

今回はかなり久しぶりのレースだったことに加え「R35-195cm」という、カービングターンをするのが難しいスキー(家にあるのがそれだけだった)で挑

戦してみました。ですので、まずゲートのターン弧で回れるか、という不安が相当強くありました。

なので、こっそり牧の入高原スノーパークへ練習に。あんなに良い練習環境があるのか!と、そこでは驚かされました。朝からゲートがセットしてくれてあるので。斜度もそれなりにあり、長さは申し分なし。かなり良い練習になりました。

2時間ほどでそこを切り上げ、隣のパノラマランド木島平のサウナに入って帰りました。ポールに当たるのが久しぶりだったせいか、腕は青アザだらけでした。後半はもう勘弁して!とばかりにポールを避けて滑っていたぐらいです。



さあ、そして本番。まさかの東コース! てつきり西でやると思っていましたよ。そして、モロ地元っていうのは緊張しますね。みんな知り合いが見えますから。やはりスタート台に立った時のあの音、あの緊張感は堪りません。日常では絶対に味わえませんからね。

なんとか滑り降りてきましたが、まあ苦戦したこと。1ターンもまともには来られませんでした。結果は、村民の部、優勝まであと僅か! 大いに楽しめました。

今回レースに出て感じたことは、自分の心がいつもとは全く違った動きをするということ。かつて最優先して取り組んでいたレースに触れることで、やはり色々なことを思います。まあ、主には「後悔」ですよ。ね。「オレ、何やってたん!」という。大きく感情が揺さぶられました。

そして、これを書いている今この時のことも、将来の僕はそう思うでしょう。だいが、そういうのは受け入れられるようにはなってきましたが。

まあ、家族、仲間を大事にして、目の前のことに全力で取り組む。これが今、君のやるべきことなんじゃないか、謙君。

なんとも贅沢な遊びですよねぇ。



ここ数年で1番滑っているのではないのでしょうか。
今シーズンはなぜか一段とスキーが楽しいです。

正直なところ、秋には「ああ、まだ雪よ、降らないでくれ～！もっとゴルフがしたいよ～！」と思っていましたが、今となっては、毎朝ノリノリでランクルにスキーを積んでいる僕であります。

…かなり贅沢なスポーツだと思うのですよ。季節限定・地域限定の天からの恵を、全身で貪るのですから。

澄んだ空気の中、凍りついた樹々が朝日でキラキラと輝き…フカフカの深雪、あるいはキュッと締まったピステを滑るあの喜びと言ったら…。もはや「毎日行かないともったいない！」となるわけです。



一度きりの「今」ですからね。滑る、というその行為自体も、極めて特殊なことのようには思います。日常ではまずあり得ない感覚です。他の何事とも比べようのない、完全たる「遊び」でしかありません。

5歳になった長男も、ある程度のところでしたら補助なしで滑れるようになったので、平日に天気が良ければ、こども園を休ませて、家族スキーも楽しんでいます。雪の降る日には(ひど過ぎなければ)子どもを園に出し、夫婦でささっと滑りに出掛けます。これも贅沢な時間だよな…。

人によっては何時間もかけて泊まりでスキーにやって来るのを、僕らは10分でスタート出来ますが、なかなかこの有難さは忘れがちになってしまいます。なんでしたら「また雪掻きかよ！」という気持ちの方が大きいかもしれません。野沢のこの恵まれ過ぎた環境に感謝し、僕は明日もスキーに出掛けます。

春の欲望。



- ✔️ **ゴルフ**
(時間を作って最低、週1で行く)
- ✔️ **キャンプ**
(今年から家族で毎年行く)
- ✔️ **サーフィン**
(ゴルフとの調整を要する)
- ✔️ **バイク中型**
(ヤフオクで中古オフロードのお宝を掘り出します)
- ✔️ **海・溪流・ヘラ釣り**
(去年、北竜湖でヘラ釣りしている人を見たのですよ。まだ釣れるのかな?)
- ✔️ **北アルプスへ**
(心導会で行かないかい?)

…ああ、春は欲望のかたまり。

テクノロジーを越えて



あまり多くは観られなかった北京オリンピックですが、幸運にも「男子スノーボードハーフパイプ決勝」はリアルタイムで観ておりました。……言葉になりませんでしたね。レジェンド、ショーン・ホワイトのラストラン。

3回目のランでは大技後に手をつき、そのままヘルメットを取って、歓声のなかパイプを降りてきたあのシーンは、ずっと頂点に君臨し続けた男が最後に何を感じていたのか。考えさせられるものがありました。そして平野歩夢選手。2回目のランが終わった時点で、疑問が残る採点により2位。(それがまたドラマでしたね)しかしそこで鬼の集中力を発揮する姿には鳥肌が立ちました。幼少期より、ずっと憧れてきたショーンに、最後は「恩返し」や「これからは僕がこの世界を引っ張っていくから任せて」というメッセージだったに違いありません。

デジタルの力により、僕らに届けられたこの映像でしたが、何かそういうものを越えた、別の大きい力によって運ばれてきたもののような気がその時したのです。

脳みそにブロッコリー

脳細胞の生成、記憶力アップにブロッコリーは最強、とのことですよ。肉体労働の方が性に合っている僕は、頭脳労働に携わっています。分けるとするならば。

より楽に、効率良く、と考えるのは常でして、何かアタマに良い食べ物ってないのだろうか…と思っていたところ、この情報を得たので、以来、食べまくっているのです。効果は…イマイチですね。笑



無性に野沢菜が食べたくなって。



実家のフジヨシから分けてもらいました。自分で切った切り口は不恰好ですが、期待どおり安定のうまさ。写真の3分の1の量をガバッと掴み、一気に食べて喉がカラカラに渴いてくる感じが好きです。それはそれはビールが進みますよ。

この時期の、ちょっと酸っぱさが入ってくるのも好きなんですよ〜。

私の健康法

エアロバイク

とにかく、1日に1回は脈をあげて、汗を皮膚から出すよう意識しています。雨の日や、冬、スキーに行かない日に便利なのが、このエアロバイクです。ふるさと納税で購入しました。エアロバイクの良いところは、まずなんと言っても身体にやさしいところ。膝への負担は限りなく少ないです。そして一瞬で始められ、動画など観ながらでも出来るので、あまり運動の時間が取れなさそうだな〜とか、ちょっと走るのは億劫だな〜という時に持ってこいです。いや、夜のビールがまた美味いんですよ。

